

連載 2050年の未来社会を考える 〇

七条中学校は創立70周年を迎え、学校だよりも101号となり、新たな一步を踏み出します。これまでの学校だよりでは、皆さんの日々の成長や学校生活の意味について伝えてきました。今回からは少し視点を広げ、皆さんが大人になる2050年の社会について考える連載を始めます。未来は予測するものではなく、創り出すものです。25年後の社会を見据えながら、今何を学び、どんな力を身に付けるべきか。一緒に未来への旅に出かけましょう。

25年後の2050年。現在の中学生の皆さんは社会の第一線で活躍している年代になっています。その頃、日本や世界はどのような姿になっているのでしょうか。未来を知ることはできませんが、未来を考えることはできます。そして未来を考えるためには、まず過去と現在を知ることが大切です。この連載では、身近な話題から最先端の技術まで幅広く取り上げながら、「未来はどう変わるのか」「私たちは何を学ぶべきか」について考えていきます。

さて、皆さんは今、毎日のようにスマートフォンを使ったり、見たりしていることでしょうか。調べものをしたり、動画を視聴したり、友達と連絡を取ったり、スマートフォンは私たちの生活になくてはならない存在になっています。しかし、皆さんは「携帯電話がどのように進化してきたか」を知っているでしょうか。

今から40年ほど前、携帯電話は現在のスマートフォンとはまったく違うものでした。初期の携帯電話は、肩から掛けるショルダーバッグほどの大きさがあり、重さも数キログラムありました。持ち運ぶことはできても、決して気軽にポケットへ入れられるようなものではありませんでした。さらに、できることは主に「電話をかけること」だけでした。

その後、技術の進歩によって携帯電話はどんどん小さく、軽くなりました。折りたたみ式の携帯電話が普及し、メールが使えるようになり、カメラが搭載され、インターネットにつながるようになりました。そして現在では、スマートフォン1台で電話、メール、写真撮影、動画視聴、経路検索、買い物、学習など、数え切れないほどのことができるようになっています。かつてはコンピュータやカメラ、音楽プレーヤーなど別々に存在していた機能が、1台の端末に集約されたのです。

もし1980年代(約40年前)の人が現在のスマートフォンを見たら、まるで未来の道具だと感じるでしょう。しかし、私たちから見ればそれは当たり前の日常の道具です。未来のものと思われていたものが、いつの間にか普通の生活の中に溶け込んでいるのです。

実は、このような変化は携帯電話だけではありません。交通の分野では、自動車の安全性能が飛躍的に向上し、自動運転技術の研究が進んでいます。医療の分野では、これまで治療が難しかった病気への新しい治療法が次々に生み出されています。学校教育でも、一人一台端末が導入され、教室の中でもデジタル技術を活用した学習が広がっています。家庭では、ロボット掃除機や音声で操作できる家電が普及し始めています。

私たちの社会は、思っている以上の速さで変化し続けています。では、皆さんが大人になる2050年頃の社会はどうなっているのでしょうか。

人工知能(AI)がさらに進化し、人と協力しながら仕事や生活を支える時代になっているかもしれません。自動運転車が当たり前になり、遠く離れた場所との交流も、今以上に身近になっているかもしれません。医療技術が発達し、人々の健康寿命がさらに延びる可能性もあります。一方で、環境問題や人口減少など、簡単には解決できない課題にも向き合わなければならないでしょう。

しかし、未来を正確に予測することは誰にもできません。40年前にスマートフォンを正確に想像できた人が少なかったように、私たちも2050年の社会を完全に描くことはできません。それでも一つ確かなことがあります。それは、「未来をつくるのは今を生きる皆さんである」ということです。

では、変化の激しい時代を生きるためには、どのような力が必要なのでしょう。知識を身につけることはもちろん大切です。しかし、それ以上に大切なのは、**自分で考え、判断し、行動する力**です。新しい技術を正しく活用する力、多様な人々と協力する力、課題を見つけて解決する力、そして自分とは異なる考え方を理解し尊重する力も必要になるでしょう。

未来社会では、今ある職業の形が変わり、新しい仕事が多く生まれると考えられています。そのような時代には、「何を知っているか」だけでなく、「学び続けられるか」が重要になります。社会が変化しても、自ら学び、新しいことに挑戦できる人は成長し続けることができます。

この連載では、携帯電話の進化をはじめ、交通、医療、エネルギー、教育、AI、ロボットなど、裏へ

さまざまなテーマを取り上げながら、過去から現在への変化を振り返り、2050年の未来社会について考えていきたいと思います。

未来は誰かが決めるものではありません。皆さん一人一人の考えや行動が未来を形づくっていきます。さあ、一緒に2050年への旅を始めましょう。未来を予想するだけでなく、「どんな未来をつくりたいのか」を考えながら。そこから、これからの時代を生きるために必要な力が見えてくるはずです。

生徒の一言に励まされて

今朝、生徒の皆さんが登校してくる中で、「100号おめでとうございます」と声をかけてくれました。正直、とてもうれしかったです。学校だよりは、発行したら終わりではありません。皆さんに届き、読んでもらって初めて意味のあるものになります。ですから、その一言から「読んでいますよ」「見ていますよ」という気持ちが伝わってきて、大きな励みになりました。

毎日発行していると、「伝えたいことは伝わっているだろうか」「少しでも皆さんの心に残っているだろうか」と考えることがあります。そんな時にいただいた皆さんの言葉は、私にとって何よりうれしい贈り物でした。何気ない一言かもしれませんが、しかし、人を励ましたり、元気にしたりする力を言葉は持っています。皆さんの温かい言葉のおかげで、私自身も「これからも頑張ろう」という気持ちになりました。

声をかけてくれた皆さん、本当にありがとう。